

多治見市コバエ生息調査市之倉住民説明会 報告

平成25年5月13日
(一社) 岐阜県PCO協会
広報委員 後藤貫八郎

はじめに

多治見市役所主催のコバエ生息調査「市之倉住民説明会」が下記の通り、市之倉公民館で開催されました。協会にとっては、昨年からの委託事業ですが、本年も多くの方の住民の皆さまにご参加いただき開催されました。夏場のコバエ対策がいかに住民の快適な住環境にとって関心の高いものであるか、改めて痛感されました。岐阜県PCO協会からは故金会長、可知副会長が出講し、住民の皆さまに懇切丁寧な説明があり、参加者の皆さんにご理解いただける説明会になりました。私ども協会側にとっても、直接問題地域に住まわれておられる皆さまから、生の問題点が色々な角度からおきかせ頂け、PCO業務の技術向上に役立つ有益な情報収集の場となりました。特に、この説明会の開催にご尽力をいただきました多治見市役所の関係者の皆さまには心より感謝申し上げます。

記

主 催 : 多治見市役所
日 時 : 平成25年5月13日(月) ①16:00~17:00、②19:00~20:00
会 場 : 多治見市市之倉公民館
参加人数 : 1回目(16:00~17:00) 32名
 2回目(19:00~20:00) 16名

説明会の様子

昨年度の取組みにより、解った事、解らない事の報告があった。次に、本年度の取組みの狙いと、その中身の説明を行い、対策の裏付けとなるモニタリング調査に協力いただける住民の皆さまを募った。

< 昨年の調査結果総評 >

先ず最初に、可知副会長より昨年度の取組みで解った事の発表があった。発生源の特定は出来なかった。山の中ではサンプル捕獲が少なかった。神社等の周辺も少なかった。逆に、山に近い民家、小学校、保育所では大量に捕獲された。地形的には南向きの斜面など、日当たりや風向きなどに類似する特徴が観察された。寄りつく建物の外壁の色は明るい方に多かった。特定の光の波長に誘引されて寄ってくる様子が観察される。大量発生時の温度・湿度の関係は30℃・70%が目安の様である。



<本年度の取組み>

昨年度は大量発生を特定できなかったが、本年度も引き続き調査する。発生場所が解れば、環境に負荷をかけない程度の濃度での殺虫剤散布処理を実施して、住みやすい住環境の促進に寄与できる。

大量発生源の特定が出来ない現状で、本年度は以下の3方法を試して、問題解決の為の有効な対処方法を確立したい。

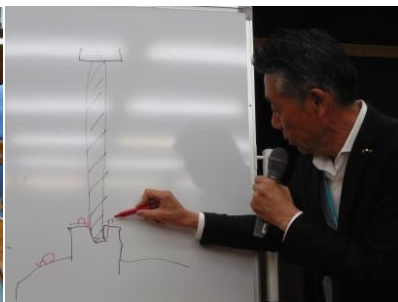
- ① 小学校の周辺等、環境への影響を極力抑えた限定された場所で、環境に優しいとされる光触媒水溶液を散布し、その発生抑止効果を試す。
- ② 2軒のモニタリング家庭で網戸に防虫ネットをはり、その効果を観察する。
- ③ 4軒のモニタリング家庭で窓枠周辺に、殺虫・防虫スプレー（シフルトリン剤含有）を吹き付け、その効果を観察する。

以上の3方法を、大量発生時期に合わせ、7月と9月に試す。発生原因がつかめ、更に、住居地域近くでの効果的な対策方法がつかめたら、発表・報告する。



<質疑応答>

防虫ネットに質問が多くあった。アフリカでもマラリア対策で実際に使用されているので、殺虫・防虫効果は見込めると説明。撚糸の編み方で、効果が1年から3年と異なる。防虫スプレーは昨年も試したが効果がみられなかった、との事。本年はシフルトリン剤含有の新型スプレーで実施する。（ホームセンターでも入手可能）スプレー塗布の技術的工夫として、窓の上下のレール付近に嚴重に薬剤が残留するよう吹き付ける。これで、家屋内部への侵入を防ぎたい。同じような条件下で、対策場所と、無対策場所での効果比較を実施し、有効な対処方法を探りたい。



まとめ

防虫ネット2軒と、殺虫・防虫スプレー（シフルトリン剤含有）4軒の皆さまにモニタリング調査への協力をお願いできました。又、協会としては発生場所の特定を引き続き探っていきたい。1日でのコバエの飛来時間帯は早朝より、せいぜい午前9時前後まで、との事。大量発生の可能性のある日には、早朝より、捕獲用具を用いて調査に入るので、発生情報の提供など、モニター以外の住民の皆さまにもお願いした。